

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	ながおか医療生活共同組合	代表者	羽賀 正人	法人・事業所の特徴	法人は複数の診療所と介護事業を展開している医療生活協同組合で、当事業所はH19年11月に開設した小規模多機能型居宅介護である。同一の敷地内に介護付有料老人ホームと特別養護老人ホームが併設されています。また協力医療機関である、ながおか生協診療所や隣接の事業所と密に連携を図って、ご利用者が安心して暮らせるようにしています。
事業所名	プラット高町	管理者	清水 昭子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	1人	1人	2人	1人	1人	1人	0人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ●部署会議にて出た意見はすぐに対応できるように周知、振り返りも時間を空けず実施する。 ●外部評価の今回の改善計画は3カ月に1回状況確認を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で情報共有を行い今後の支援に繋がるよう話し合うことができた。 ・ご利用時の様子についてご家族へできる限り口頭で伝えるよう心がけている。 ・新規の利用者の情報収集にバラつきがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議にて貴施設の様子がよく伝わりました。 ・スタッフの方の自己評価はかなり厳しめだと思えます。良くしていただいております。ありがとうございます。 ・各職が目標に対し意識して取り組みられている様子が伺えました。できていない点については改善につながりやすい計画を立てることが難しいと感じました。 ・自己評価全体を通して“出来ていない”“あまりできていない”と答えた職員へのフォローはどのようなようになっていますか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規利用前の情報共有をミーティングで行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ●裝飾担当を振り分け、作品作りを計画的・具体的（誰にどんな作業を行ってもらうかなど）に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担当月を明確にすることで責任をもって取り組みやすくなった。 ・事前に取り組み準備や取り組みの開始が早目にできるようになった。 ・利用者がどんな作業に取り組みやすくなるのか？一生涯懸命考えるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・裝飾について担当を振り分けることにより良くなった点と改善が必要な点がありましたか。 ・季節の裝飾はわいがやではなく事業所内に電磁していますか。また利用者さんの作成した作品はどのような場で展示していますか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染所も2類から5類になり少しずつ通常の活動に戻りつつある為、わいがやでの班活動や公民館利用者が気軽に立ち寄れるよう環境整備を行う。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ●高町だより（年4回町内回覧板にはさむ）は継続して行う。 ●事業所独自のチラシは具体的（専門者からのアドバイス等）に分かりやすい内容にし、高町だよりとは別に回覧板、又はチラシ配布、コミセンや公民館に掲示していただけにする。またそれは定期的に作成していく（年3回） 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙は今後も継続して行っていく。 ・事業所の紹介について営業班が年2回くらい見直しをかけ事業所以外の方が見てわかりやすいよう作成に努めた。 ・もつと沢山の方に目につくよう配布先や掲示の場所を工夫できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域へお便りを配布することは情報発信の良い手段だと思います。 ・利用者以外の地域の方はどのような用事で事業所に訪れていますか。 ・貴事業所へ伺った際に丁寧な対応をしていただきました。「地域の相談窓口」についてですが広報活動は大変だと驚えます。具体的方法など教えて頂きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで以上に地域との交流を意識し行事やイベントに積極的に参加し事業所のアピールを行う。

<p>D. 地域に向いて 本人の暮らしを 支える取組み</p>	<p>●地域のイベントに参加する(11月作品展、12月小学生との交流) ●町内と事業所合同で講習会の企画実施を目指す(車椅子講習会、腰痛予防、口腔ケアなど)</p>	<p>・9月に山通地区の敬老会に参加させていた だけだ。 ・10月山通コミュニティセンター作品展に 作品を出品するとともに作品展に利用者 をお連れし見に行くことができた。自分の 作品が飾られている喜びと、他の作品 のクオリティーの高さに驚きと学びが感じ られた。また12月には柿小学校の生徒さん との対面交流が4年ぶりに叶い触れ合うこ との重要性を感じる事ができた。 ・町内の防災企画で講師を務めることがで きより一層地域を知ることができた。 ・今年度対面での運営推進会議を進めたこ とで委員の方へ少しは事業所の様子を知っ ていただけたと思う。 ・事例を挙げての検討ができなかったため 今後は事例検討を実施していきたい。</p>	<p>・ドライブやイベントなど利用者さんが楽し める工夫や企画に取り組んでいられると 思いました。 ・「たより」で楽しそうなお顔を拝見してい ます。 ・祭りや敬老会等に参加され地域との交流 を取り組まれたことが回えました。今後は 具体的に交流される予定などがありました ら参考のために教えてください。</p>	<p>・事業所として地域に向くだけでなく 今後も利用者さんをできるだけ外にお連れ し季節感を味わっていただけのようなドラ イプの実施や馴染みのスノーバーなどでお買 い物などを年間行事に位置付けご利用者・ ご家族との関係構築に努めていく。</p>
<p>E. 運営推進会議を 活かした取組み</p>	<p>●定期的に委員の方へ事業所の様子を告知 らせる(写真、チラシ等) ●事例を提示し、委員の方に意見を求める (年3回)</p>	<p>・会議席上の説明で通常の様子がよくわか りました。 ・高町地域敷地内などで心配な方はいらつ しゃいますか。また心配な方の情報はどこ から得ていますか。</p>	<p>・委員の方へ事業所の様子を分かりやすく お知らせする。 ・地域で心配がある方がいらつしゃる際 は運営推進会議にて情報を共有、相談しな がら皆様からの意見を求め連携を図ってい く。</p>	<p>・今後も地域と協力しながら訓練を実施す る。 ・緊急連絡網を使用した訓練を実施する。 ・他事業所にも訓練に参加して頂き意見を もらう。</p>
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>●町内の方には引き続き防災訓練の参加を 依頼する。 ●雪害時の連絡体制を確認していく。</p>	<p>・防災訓練は年2回実施。うち1回は消防・ 町内防災班の方にも参加頂き真剣に取り組 むことができた。 ・また緊急連絡網(トヨクモ)を使用した 訓練も併せて実施。職員からの返信にて安 否や出勤の可否等を含めた確認を行った。</p>	<p>・町内の方が参加されたり地域の方の施設 に対する防災意識をもつていただくよう行 えたいと思います。地域での防災訓練には参 加されたのでしょうか？現在は行われてい ない地域が多岐ようですが私が私どもも訓 練が行われた際は参加したいと考えており ます。 ・3事業所合同の訓練の実施等、連携しな がら取り組まれているとおもいます。また 町内会へも積極的に関わりながら地域と一 緒に防災対策に取り組んでいると思いま す。 ・訓練を継続することで実際の災害時に対 応がスムーズになると思います。</p>	<p>・今後も地域と協力しながら訓練を実施す る。 ・緊急連絡網を使用した訓練を実施する。 ・他事業所にも訓練に参加して頂き意見を もらう。</p>